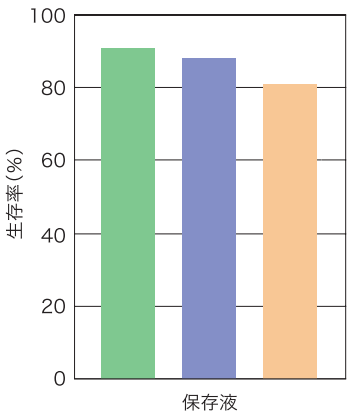
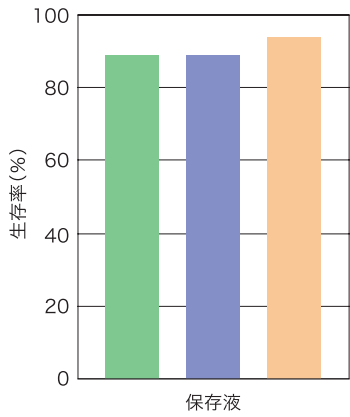


各種細胞凍結保存液の使用例

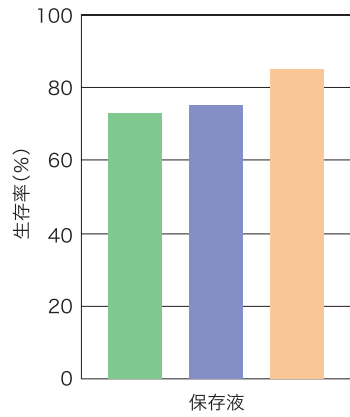
種々の保存液で凍結保存（-80℃、1ヶ月）したMDCK細胞の解凍直後の生存率



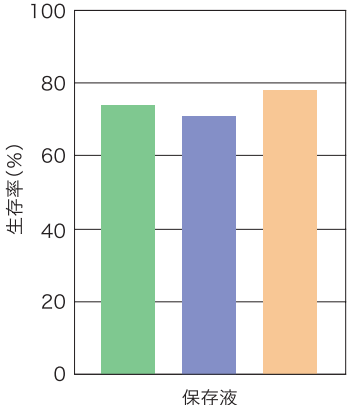
種々の保存液で凍結保存（-80℃、6ヶ月）したVero細胞の解凍直後の生存率



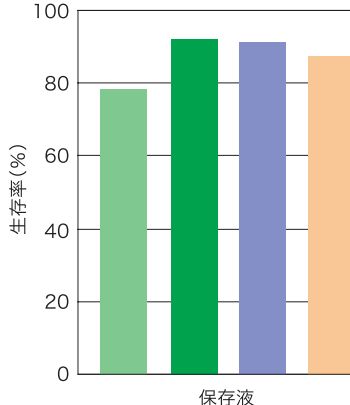
種々の保存液で凍結保存（-80℃、6ヶ月）したMolt-4F細胞の解凍直後の生存率



種々の保存液で凍結保存（-80℃、1ヶ月）した活性化済みヒトリンパ球（標品A）の解凍直後の生存率



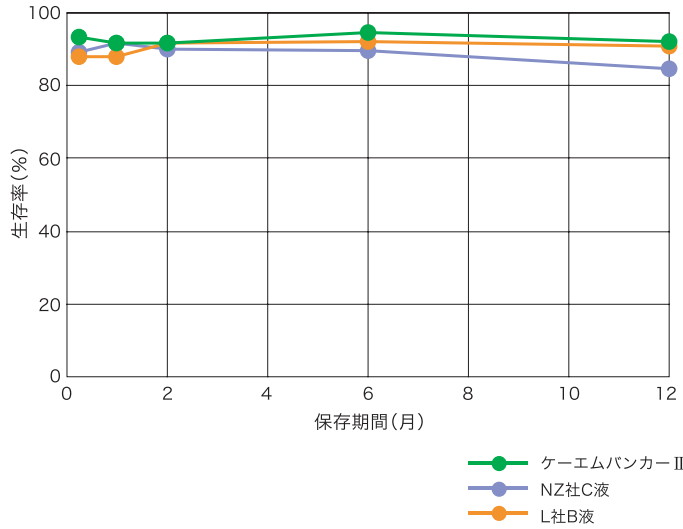
種々の保存液で凍結保存（-80℃、1週間）した活性化済みヒトリンパ球（標品B）の解凍直後の生存率



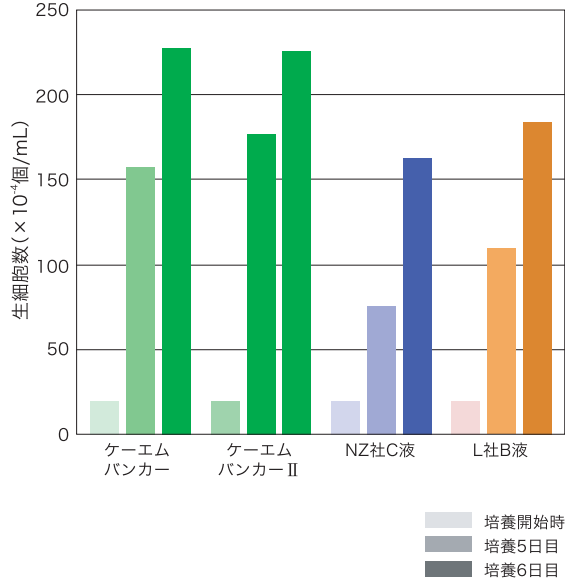
● ケーエムバンカー
● ケーエムバンカーII
● NZ社C液
● L社B液

※凍結保存試験法：
対数増殖期にある細胞を種々の保存液に懸濁し（15 - 30 × 10⁴個/mL）、ディープフリーザ（-80℃）で苛酷条件下に急速凍結した。
同温度で一定時間、凍結保存した。
解凍直後に、細胞生存率をトリパンブルー色素排除法で測定した。

種々の保存液で-80℃に1年間凍結保存した活性化済みヒトリンパ球（標品C）の解凍直後の生存率



種々の保存液で-80℃に1週間凍結保存した活性化済みヒトリンパ球（標品B）の解凍後の増殖反応



※培養試験法：
種々の保存液で-80℃に1週間凍結保存した活性化済みのヒトT細胞を解凍した。
37℃で5%炭酸ガス環境下に初発2 × 10³個/mLからの静置培養を1%自己血漿添加KBM 540培地（インターロイキン-2含有）で開始した。
培養5及び6日目に、トリパンブルー非染色細胞をカウントした。